



## レバノン・イスラエル：ヒズブッラーの攻撃でイスラエル軍兵士が死亡

2015年1月28日、レバノンのヒズブッラーは、レバノン・イスラエルの国境付近でイスラエル軍パトロール部隊の車列をミサイルで攻撃し、イスラエル軍兵士2人が死亡、7人が負傷した。これに対しイスラエル軍は、ヒズブッラー陣地に対する砲撃と空爆を実施し、南レバノンに展開する国際連合レバノン暫定駐留軍（UNIFIL）のスペイン軍兵士1人が死亡した。攻撃後、ヒズブッラーは、UNIFIL 経由でイスラエルにメッセージを送り、今回の攻撃は、1月18日にゴラン高原でヒズブッラーのメンバー6人、イラン革命防衛隊の将軍1人を含む6人、計12人がミサイル攻撃で死亡した事件に対する報復であるとした。イスラエル軍は、同攻撃を行なったことを公式には認めていないが、ヒズブッラーとイランはイスラエル軍の攻撃だと非難していた。27日には、イスラエル側のゴラン高原北部に、シリア側からロケット弾2発が撃ち込まれ、イスラエル空軍が、ゴラン高原付近のシリア軍基地を空爆していた。現在のところイスラエル軍は大規模な報復攻撃に出ていない。

### 評価

イスラエルは、18日の攻撃を公式には認めていないが、イスラエルの Ynetnews サイト（20日付）は、イスラエル軍筋の話として、ヒズブッラーと革命防衛隊幹部が一緒に行動していたことは知らなかったと報道している。イスラエル軍は、報復に備えて北部での警戒を強め、迎撃ミサイルシステム「アイアン・ドーム」を配置している。イスラエル側の報道では、イスラエル軍はヒズブッラーの報復があると見ているが、その規模は限定されたものと分析・期待しているようだ。兵士が死亡した後のイスラエル軍の反応を見ると、報復攻撃の規模は小規模である。イスラエル軍としては、今の時点で、ヒズブッラーと大きな戦いになることは避けたいと考えているようである。

（中島主席研究員）

---

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

◎各種情報、お問い合わせは中東調査会 HP をご覧下さい。URL : <http://www.meij.or.jp/>